

# バインドマチック 5000 型取扱説明書

## 1. 製本機の設置場所

バインドマチック 5000 型とクーリングスタンドをテーブルの上に置いてください。  
作業用に別のテーブルを用意されることをお勧めします。

## 2. 電源コードをコンセントに差込む

電源コードをコンセントに差し込みますと室温によりシステムがスタンバイの状態になります。バインドマチック 5000 型は製本カバーに挟んだ書類を加熱プレートの上に置くと、センサー感知音が短くピッと鳴り、自動的に加熱します。

## 3. 背幅ガイドのセット及びカバー選択

付属の背幅ガイドを使用することで製本する書類の背幅が簡単にわかります。

## 4. 製本カバーへの書類のセット

製本する書類を正しいサイズの製本カバーにセットします。製本カバーとはさみ込む書類の両端をそろえます。きちんとそろえることでしっかりと製本でき、またきれいな仕上がりになります。

## 5. 加熱プレートの上にカバーをセットする

製本カバーの背幅により、複数冊を 1 回で製本することができます。製本するカバーが 1 冊でも複数でも製本方法は同じです。前面のサポート板をやさしくスライドして閉じてください。加熱プレート上でも製本する書類がまっすぐになり背表紙が平らになります。

注意：前面のサポート板に過度の圧力を加えないでください。－ 製本カバーがまっすぐになるようにやさしくサポート板を閉じてください。－ そしてハンドルを放します。

## 6. 書類の製本

1 冊あるいは複数の製本カバーがセットされると製本が自動的に始まり、加熱プレートの加熱が始まります。バインドマチック 5000 型の前面の赤いランプがスイッチオンを示し別の赤いインジケータランプが製本時間を示しています。また製本開始のブザーも鳴ります。

## 7. 製本完了

加熱終了後にブザーが鳴り赤いランプが点滅します。製本カバーを取り出しクーリングスタンドに立てかけて置いてください。約 1-2 分間そのままにし、完全に冷めてからお使いください。製本カバーを取り出すと加熱プレートのスイッチが自動的に切れます。バインドマチック 5000 型は再度製本できる状態に戻りました。

注意：製本カバーの加熱されていた背の部分が室温に戻ればしっかりと製本完了です。厚い製本カバーは薄い製本カバーより冷めるのに時間がかかります。\*

\*\*\*\*\*

追加機能 --- “特殊な用紙を製本する為の加熱時間の延長”

一般的なコピー用紙などを製本する場合には加熱時間の延長は必要ありませんが製本する用紙が特殊な場合(コーティング用紙、重量のある用紙、つやのある用紙など)には手動で加熱時間の延長ができ、製本時間を約 20 秒長くしてしっかりと製本できます。

作動方法 : バインドマチック 5000 型に製本カバーを挟み加熱プレート上でカバーを上げ下げすると 2 秒間に 3 回センサーが作動しブザーが鳴ります。加熱時間延長が作動するとピッピッピというブザー音が 3 回鳴り、製本カバーを置くと赤いインジケータランプの 6 メモリまで点灯します。通常の製本では 4 メモリまで点灯します。

解除方法 : カバーの上げ下げを連続して行うか 5 分間待つとバインドマチック 5000 型は自動的に通常の状態にもどります。

\*\*\*\*\*

<ご使用上の注意>

- ◎ 分解しないでください。
- ◎ 屋内での使用に限ります。
- ◎ ぬらさないでください。
- ◎ ご使用になる室内の適温は 10℃～40℃です。コンセントの近くで平らなテーブルの上に置いてください。
- ◎ 紙などを本体の下に置かないでください。
- ◎ 電源コードを抜いて電源オフになります。他に電源スイッチはありません。
- ◎ 製本中及び製本完了後 15 分間は加熱プレートが熱くなりますのでさわらないでください。

※電源コードがコンセントに差し込まれている状態は、スタンバイ状態です。加熱プレート上に、製本目的のカバー以外の物が乗っても、センサーが感知しますと、加熱がスタートしますので、ご注意ください。

仕様 : 100 V、50/60Hz、700 W(最大消費電力)